

公民館情報

第16回 行方市「輝く未来展」

市内の園児・児童・生徒を対象に、絵画・書の内容の作品づくりを通し「未来・夢・こころ」を感じる機会を提供するとともに、子どもたちの感性と意識の高揚を図ることを目的に、下記のとおり開催されます。力作ぞろいの作品が展示されますので是非ご覧ください。

▼ 展示期間

2月1日(火)～2月15日(火)

※休館日(2月7日・2月14日)は除きます

▼ 時間

9:00～17:00

▼ 会場

麻生公民館・体育室

▼ 展示作品

書の部 市内小学3年生～中学生(毛筆のみ)

絵画の部 市内小中学校・市内幼稚園

認定こども園のぞみ

※ご来館の際はマスクの着用および手指消毒等のご協力をお願いします。

皆さまのご来館をお待ちしております！

【問】 北浦公民館 ☎0291-35-3777

FAX0291-35-3773

歌碑や文学活動の足跡を巡る旅 10

高寺 真風流

瑞垣のみさきにかよふ浦なみの

すがすがしくも見えわたる哉

所在地：天王崎 八坂神社境内



この巡る旅でもその軌跡を辿ってきたように、水郷の歌は江戸時代から俳句が中心であり、明治以降も句会が盛んにおこなわれていました。そのため短歌の歌人は少なく、短歌グループの萌芽は昭和20年以降の事になります。

今回は希薄ともいえる明治中期の短歌界で、近代水郷の歌人として活躍した高寺真風流をご紹介します。

真風流は麻生の人で本名は吉平、郵便制度が確立した当初の初代麻生郵便局局長を務めました。明治初年頃、真風流が師と仰いだ鬼沢大海は、歌にも造詣の深い国学者で笠間城主牧野候に仕え、藩士に国学を教授していました。

後年真風流は、佐々木信綱が主宰する竹柏会のメンバーとなり機関紙「心の華」に所属するなど、全国の歌仲間と交流していましたが、明治6年11月に83歳で亡くなりました。

真風流の歌碑は、八坂神社の右奥手にあり、碑の裏側には高寺常次郎と高寺初太郎が明治41年6月に建立したことが書かれています。

(文責：行方市教育委員会生涯学習課)

※「旅のミニ文学館目録」(行方市教育委員会編)「麻生文人伝」(志村仙之助著)「水郷の歌人たち」(木村修康著)を参考にしています。

※佐々木信綱 三重県出身の歌人、国文学者、万葉集の研究者

【問】 生涯学習課文化・社会教育グループ ☎0291-35-2111

はい、こちら行方市消費生活センター！

物干し竿の移動販売トラブルにご注意を！！

【事例】

「1本、イチキューパ」と言っていたので1,980円なら安いと思い、物干し竿が古くなっていたこともあって近所をまわっていた物干し竿の移動販売車を呼び止めた。業者から「ステンレス製の物干し竿をこの場でカット加工する。代金は1本19,800円になる」と言われ、思っていた値段と違ったことに気づいたが、断れる雰囲気ではなかったので購入することにした。業者から「作業が終わった」と声をかけられ屋外にでると、頼んでいない屋外設置の物干し台が修理されており、修理代を含め15万円を請求された。修理代金の支払いを拒否したが「古くて修理が必要だった。資材を加工して修理したので解約できない」と強い口調で言われ、怖くなって現金で支払ってしまった。業者の領収書に書かれていた住所、電話番号をネットで確認すると架空のものだった。お金を返して欲しい。

【解説】

古くなった物干し竿や物干し台の交換は簡単ではなく、持ち運びがしにくい物干し竿等を自宅前で販売してくれる移動販売は便利な存在です。その一方で、消費者に安い価格で販売しているかのように呼びかけ、不意打ち的に消費者に高額な商品を購入させて支払いを強要する業者も見られます。以下のポイントをおさえておきましょう。

- ① 注文していない修理代金などの請求を受けた場合は、その場で支払わないことが大切です。無理やり支払いを求められ、断ることが難しい場合は、周囲の人や警察に電話して助けを求めて下さい。
- ② 領収書をもらえなかったり、業者の住所や電話番号が架空のケースもあるため、念のため車のナンバーを記録しておきましょう。

対応に困ったり、トラブルにあってしまった場合は、一人で悩まず行方市消費生活センターに相談して下さい。

— まずはお電話を！ —

【問い合わせ】 行方市消費生活センター ☎0291-34-6446